

マツヨイセンノウ

Silene alba

ナデシコ科



マツヨイセンノウ

名前の由来

「マツヨイ」は宵を待つかのように夕方に開花する性質からで、「センノウ」は類似種のセンノウが嵯峨の仙翁寺にあったことから。別名ヒロハノマンテマ。漢字名：待宵仙翁

形態的特徴

茎は直立し、高さ30～70cmになる。全草に毛があり、やや粘る。茎葉は長楕円形で先はとがり全縁、柄は無く対生する。花は白色で径2～2.5cmになり、花びら（花弁）は5枚で先が2深裂し、基部のがく筒は赤みを帯び、球形に膨らむ。雌雄異株で雄花は花の中央に10個の雄しべがあり、がく筒はやや細長い。雌花では花中央に5本の花柱があり、

基部のがく筒は丸く膨らむ。

類似種と見分け方：シラタマソウ、ツキミセンノウ。

シラタマソウは全草無毛で、雌花と雄花、両性花があり、混ざって茎上方に多数つく。ツキミセンノウは、花は淡紅色で後に白くなり、がく筒は粘る。また両性花のみを持ち、花柱は3本ある。

生育環境・分布

道端や荒地、畑のふち、草地、林縁などに普通に生育する。

普通に見られる。

分布：国外分布は、ヨーロッパ（原産地）。その他の分布地については不明。

国内分布は、北海道、本州。

北海道内分布は、桧山以外の全道で確認されている。

十勝地方では、道端や荒地、畑のふち、草地、林縁などに

生活史

開花時期：7～9月。開花までの年数：2～数年。

寿命：2～多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■明治年間に観賞用に渡来したとされている。

■雌雄が雌株、雄株と別個体の植物である。マツヨイセンノウは花が観察しやすい大きさであり、隣接したマツヨイセンノウで雌雄が違うこともよくあり、見比べてみるとおもしろい。



マツヨイセンノウの花



マツヨイセンノウの雌花

マツヨイセンノウの雄花

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期					■							

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「東北北海道の植物」滝田謙讓 カトウ書館 1987

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道初夏の花絵とき検索表」梅沢俊著 エコ・ネットワーク 1997

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ